

# 長崎の食



**ちゃんぽん**  
1899年(明治32)に長崎に住む華僑や留学生のために作った料理がはじまりです。



**龍馬が愛した西洋料理**  
長崎市内では、ホテルや飲食店が大河ドラマ「龍馬伝」を盛り上げようと「龍馬が愛した西洋料理」を開発しました。



**旧グラバー住宅**  
トーマス・ブレイク・グラバーの住居として、1863年(文久3年)に建設。現存する日本最古の木造洋風建築で、国指定重要文化財。グラバーと妻、ツルの写真や、愛用品のステッキなどが展示されています。  
所:長崎市南山手町8-1



**海軍伝習所跡**  
黒船来航に慌てた幕府が、洋式海軍の創立、軍艦の購入、人材養成などの目的で1855年(安政2年)設立。伝習生の中には鑑長要員として幕府から派遣された勝海舟もいました。  
所:長崎市江戸町



**長崎歴史文化博物館**  
長崎奉行所をほぼ同じ場所で復元し、平成17年に開館。平成22年1月から「龍馬伝館」を開設します。  
所:長崎市立山1-1-1

**史跡料亭 花月**  
1642年(寛永19年)創業の料亭。全国でも珍しく史跡に定められており、日本最古の洋間「春雨の間」などがあります。  
所:長崎市丸山町2-1

- 長崎空港
- グラバー園
- 亀山社中記念館
- 風頭公園
- 雲仙国定公園
- 雲仙温泉



**龍馬通り**  
寺町通りから深崇寺と禅林寺の間を抜け、亀山社中跡へと向かう石段。幕末史を探る散策路で途中にはぶ一つ像があります。



**ぶ一つ像**  
亀山社中からほど近い、長崎港をのぞむ風頭公園。龍馬の銅像や「龍馬がゆく」の文学碑があります。  
所:長崎市伊良林3-565

## 長崎県



**亀山社中記念館**  
慶応元(1865)年に龍馬が日本で初めて組織したカンパニー「亀山社中」の拠点があった場所。「龍馬伝」放映にあわせて公開されています。亀山社中跡近くには「龍馬のぶ一つ像」があり、ブーツを履いて記念撮影できます。  
所:長崎市伊良林2-7-24



**愛津村庄屋跡(深浦家屋敷)**  
元治元年(1864)2月22日、海舟や龍馬ら一行が宿泊したと言われています。  
所:雲仙市愛野村町乙



**龍馬も飲んだ旧茶屋の井戸**  
長崎街道沿いにあった久山茶屋跡に残る井戸。長崎游学の志士たちがここで喉を潤しました。



**島原湊**  
元治元年(1864)2月22日夜6時に島原湊(現、湊新地町)に着きました。  
所:島原市湊町



**神代小路・鍋島邸**  
領主・鍋島氏の陣屋跡。平成19年6月、島原半島で初となる国の重要文化財に指定。海舟と龍馬は、長崎からの帰途、この邸宅で昼食をとりました。  
所:雲仙市国見町



**風頭公園**  
亀山社中からほど近い、長崎港をのぞむ風頭公園。龍馬の銅像や「龍馬がゆく」の文学碑があります。  
所:長崎市伊良林3-565



**島原城下本陣跡・中村家屋敷**  
勝海舟と坂本龍馬は往路、この屋敷で休憩をとり、復路には宿泊したと伝えられています。  
所:島原市内一丁目



**四時軒(小楠記念館)**  
横井小楠の家塾「四時軒」は、熊本市郊外にあり、龍馬が訪れた座敷には、今も往時の面影が残ります。龍馬と酌み交わした酒の肴は、裏手を流れる秋津川や江津湖の川魚の佃煮だったと言われ、東の間の平安を楽しみ、談笑する二人の音が聞こえてくるようです。また敷地内の小楠記念館には、海舟からの手紙など貴重な展示品が見学できます。 所:熊本市沼山津1-25-91



勝海舟からの手紙



**泰勝寺跡(立田自然公園)**  
細川家菩提寺跡。細川藤孝夫妻や、忠興と妻ガラシャの墓があり、苔園や茶室「仰松軒」が残っています。豊後街道から寺跡までの参道跡には、武蔵にまつわる「弓導石」もあります。  
所:熊本市黒髪4-610



**大津街道菊陽杉並木と武蔵塚**  
菊陽町から熊本市龍田までの間に約1000本の杉並木が続いています。頼山陽や勝海舟も感嘆した杉並木で、「日本の道百選」にも指定されています。この街道沿いに埋葬するよう遺した剣豪、宮本武蔵の墓(武蔵塚)も並木沿いにあり、その近くの地点から海舟も熊本城を眺めました。  
所:武蔵塚は熊本市龍田町弓削1232



**熊本城**  
日本三名城の一つ熊本城は、加藤清正によって築城されました。扇の勾配と呼ばれる高く反りあがった石垣が、幾重にも折り重なる姿は、堅固なだけでなく、美しくもあります。勝海舟も「築制他城の比にあらす。外周最大なり。郭城高く、堅牢おもうべし」と感嘆しました。



**本丸御殿昭君の間**  
日本三名城の一つ熊本城は、加藤清正によって築城されました。扇の勾配と呼ばれる高く反りあがった石垣が、幾重にも折り重なる姿は、堅固なだけでなく、美しくもあります。勝海舟も「築制他城の比にあらす。外周最大なり。郭城高く、堅牢おもうべし」と感嘆しました。



**御客屋跡(現・一新幼稚園他)**  
熊本藩の迎賓館「御客屋」跡で、勝海舟と坂本龍馬もこの時泊まったとされます。明治5年には明治天皇も行在所とされ、随行の西郷隆盛も宿しました。周辺の新町・古町は城下町の風情が残る、まち歩きスポットです。 所:熊本市新町1-10-38



**鎮道寺**  
文禄元年(1592)、長規上人が開いた寺。元和2年に福岡城下に移されました。幕末の安政4年(1857)には、当時長崎海軍伝習所で訓練中の勝麟太郎(海舟)が練習船観光丸で来航、宿泊し、その時の落書きが今も本堂の柱に残っています。  
所:熊本県天草郡苓北町富岡2452